



# さくら並木だより

第5号

発行：相模原市  
平成23年  
12月

## 第4回、第5回検討会では危険木の伐採後の対応を話し合いました。

市役所周辺の桜並木の維持管理の在り方について、学識経験者や市民の皆様からご意見を伺う検討会の第4回を8月11日(木)に、つづいて第5回を8月23日(火)に開催しました。第4回は、昨年度実施した市道市役所前通の桜並木の診断結果に基づく危険木の伐採結果等、第5回は、更新方法等について、意見交換を行いました。本号では、第5回検討会について報告いたします。

## 不健全で危険な樹木を伐採した後の更新方法について

市道相模原横山及び市道市役所前通で、倒木の危険性がある街路樹17本を伐採しました。伐採後の更新を今後どうしていくのか意見交換を行いました。その主な結果は以下のとおりです。

### ○伐採した跡地には、新たに樹木を植えるか・植えないか？

(結果) 基本的には植えるが、状況によって植えない場合がある。

(主な理由) ・原則、交差点の近くなど支障のある場合は植えないなど、個別に判断すべき。

・適正な樹木間隔を検討した上で、植えるべき。

・数年程度は植えずに、隣接樹木の成長経過を見て、植えるかどうかを個別に判断すべき。

### ○新しく植える場合、樹種は既存と同じソメイヨシノか・他の樹種に変えるか？

(結果) すべて既存と同じソメイヨシノが良い。

(主な理由) ・開花の時期など、並木として統一感が有った方が良いから。

### ○新しく植える場合、同じ位置に植えるか・別の位置に変えるか？

(結果) すべて同位置である必要がない。

(主な理由) ・光条件や、樹形の広がりも踏まえて、将来の密度に配慮し、位置を決めるべき

・交通安全やその他の状況を考慮して、位置を考えるべき。

・同じ位置だと病気(腐朽病・嫌地現象)にかかるとの恐れがあるから。

### ○新しく植える場合、若木か・苗木か？

(結果) あまり小さすぎず、若木に近い苗木が良い。

(主な理由) ・いたずらされる可能性があるので、大きい樹木が良いから。

(※苗木=高さ2.5m以下、若木=高さ3.0m以上として、検討した。)



## 今後の伐採方針について

倒木の危険性がある街路樹を伐採するなど、当面の対応は終わっていますが、今後、さらに伐採する必要はあるのでしょうか。検討会でいろいろ意見交換をおこないました。その結果は以下のとおりです。

### ○計画的な間引きなど、現状以上に伐採する必要はあるのか？

(結果) 危険木のみを伐採していく

- ・腐朽の進行は早く、安全のため早めに伐採したほうがいいから。
- ・安全確保は絶対条件であるため、行うべきだが、それ以外の目的（間伐等の意義は分かるが）で伐採するのは好ましくないから。

(※危険木＝診断の結果、倒木の可能性がある、または交通安全上の支障となるもの。)

## ソメイヨシノの寿命について

### 1. 一般的なソメイヨシノの寿命

ソメイヨシノの寿命は一般的に50～60年といわれています。都市のソメイヨシノは40年ぐらから痛んできます。都市の過酷な環境で生育していることと、接ぎ木生産を原因とする根株芯材腐朽を抱えていることによります。街路樹の場合は、倒木や落枝が起きたり、根上がり、落ち葉や枝の越境など苦情が多くなると、剪定・補修が多くなり樹体も痛み、維持管理費もかかるようになります。結果的にまだ生きていても倒木の可能性があるなど伐採更新の時期と判断されるようになります。

### 2. 市役所前通や相模原横山におけるサクラの寿命

市道市役所前通のサクラは、現在、定期的な剪定を行っていないため、ゆっくりと安定した成長をしています。安定成長は短枝が多くなり、花付きも良くなります。老木にとって安定成長はきわめて重要で、この地区のサクラの寿命を延ばしている理由の一つと考えられます。

また市道市役所前通では、両側にケヤキがありますが、常に剪定されているため競合の影響は少ないようです。しかし、路線全体の植栽密度が高く、交差点を除き、天空を緑が覆っているため、ほとんど余地はありません。緑被率の高い道路はすばらしいのですが、健全な樹木の育成にはもう少し密度を下げたり、天空に余地が必要と思われます。今後、勝ち組は負け組を枯らしながら、巨木化が進みます。

相模原台地のこの地区は元々乾燥気味ですが、関東ロームを基盤とした厚い黒土が存在します。現在のように都市化しても昔の雑木林や畑の表土が舗装の下に残っています。従って排水性、通気性が深層まで良好なため、深い所まで根系が広がっているの、表面を舗装されてもダメージが少ないし、ここのサクラの長生きの理由の一つとかがえられます。

このような理由で、この地域の桜は都市樹木としては寿命が長いと思われます。

## 今後の見通し

高齢化したこの桜並木では、健全な成長や危険除去のため、樹木の健康診断である街路樹診断を実施し、適切な処置を施す必要があります。これまで市役所前通と相模原横山では、街路樹診断として点検、外観診断、精密診断を実施し、サクラの健全度判定をおこなってきました。今後は、人間の健康診断のように、定期的、計画的に診断をおこなう必要があると考えています。

問合せ先：〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15 相模原市 都市建設局土木部道路補修課  
TEL：042-769-9235 FAX：042-754-1068